

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公表番号】特表2010-502940(P2010-502940A)

【公表日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-526165(P2009-526165)

【国際特許分類】

G 01 N 33/53 (2006.01)

G 01 N 33/543 (2006.01)

【F I】

G 01 N 33/53 M

G 01 N 33/53 D

G 01 N 33/543 5 7 5

G 01 N 33/543 5 4 5 A

G 01 N 33/543 5 4 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月30日(2010.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象とする瘢痕がケロイドであるかケロイドではないかを診断する方法において、対象とする瘢痕における遺伝子発現を代表する試料における、表1に示す遺伝子群から選択される少なくとも1つの遺伝子の発現と、コンパレータ組織における、前記少なくとも1つの遺伝子の発現とを比較することを含む前記方法であって、コンパレータ組織における前記少なくとも1つの遺伝子の発現と比較して、対象とする瘢痕における前記少なくとも1つの遺伝子の発現が上昇していることが、対象とする瘢痕がケロイドを含むことを示す前記方法。